

茶道 I

教科(科目)	日本文化	単位数	2単位	学科・学年・コース・組	2・3年次
使用教科書	財団法人今日庵 『学校茶道初級編』				
副教材等					

1 学習の到達目標

日本の伝統文化である「茶道」を通して、日本人の心と基礎的な作法を学び、豊かな情操を養う。

2 指導の重点

生徒間で互いに思いやり、協力し合い、積極的に活動を行うことで、感性を養う。

3 学習の計画

月	単 元 名	教 材	主要学習領域	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	茶道の成立、基本動作	教科書		歴史、あいさつ、歩き方	8	所作
5	道具の名称、客の作法	〃		道具の名称を覚える。菓子の食べ方、茶の飲み方。	8	プリント
6	〃	〃		〃	8	所作
7	亭主の作法	〃		薄茶の点前	6	点前
8						
9	亭主の作法	教科書		薄茶の点前	8	点前
10	客のもてなし方	〃		床の飾り方、茶花の生け方、文化祭の発表	6	所作
11	〃	〃		〃	8	活動の様子
12	茶道と日本文化	〃		道具の名称を覚える。寺院と茶道の関係や香道等を学ぶ。	6	プリント、所作
1	初釜、茶傾奇	〃		季節の茶道文化を学ぶ。	6	活動の様子
2	茶事	〃		茶事を楽しむ。	4	〃
3	茶事			茶事を楽しむ	2	

計 70 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

各単元において、所作(点前)を確認する。プリント提出。

5 評価規準・評価方法

評価は次の5つの観点から行います。			
関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
茶道に関心を持ち、意欲的に活動している。	主客が互いを思いやり、適切な行動をしている。	美しく無駄のない動作を心がけている。	茶会の意味を知り、客をもてなす動作を正しく行うことができる。

6 担当者からの一言

7月に木村茶道美術館で茶を学び、12月に念相寺で茶会を催します。楽しみながら「茶道」を学び、普段の生活の中にも学びを生かせるようにしましょう。